

新たに50人の地域防災リーダーが誕生



▲地図上で災害時の避難行動などを確認する受講者

市は11月19・20日、地域における防災活動の推進役となる人材を育成する平成28年度地域防災リーダー養成講座を開催しました。修了した50人を新たに認定し、これで市内の防災リーダーは221人となりました。

講座では、地図上で災害発生時の行動などを確認する訓練や避難所の模擬運営、救急救命講習など、全6課程を実施しました。町内会や自主防災組織などから参加した受講者は、周りの受講者と協力しながら、一つひとつの課題に熱心に取り組みました。

市では、「自分たちの命と地域は自分たちで守る」という自助・共助の考えのもと、大規模な災害に備え、地域住民が主体的に地域の防災活動を行う自主防災組織の整備を進めています。地域防災リーダーは自主防災組織の結成や

訓練、実際に災害が発生した場合の対応などで、中心的な役割を果たすことが期待されています。現在、市内では117の自主防災組織が結成されています。

自主防災組織の活動に必要な資機材の整備・購入については、加入世帯数に応じた助成制度があります。新規設立を考えている町内会や自治会は、危機管理課に相談してください。

危機管理課

☎0848・67・6165

天満市長らがNZパームストーン・ノース市を訪問

天満祥典市長、梅本秀明市議会議長らで結成した市訪問団は11月21日、新たな国際交流の機会を創出するため、ニュージーランドのパームストーン・



▲握手を交わす天満祥典市長とグラント・スミス市長

彫金家 清水南山の特別展が開催

市出身の彫金家 清水南山の特別展が6日から、広島県立美術館で開催されます。市はこの展覧会に特別協力し、所蔵する彫金作品7点を展覧しています。

清水南山は明治8年、現在の幸崎能地に生まれました。金属の表面にたがねで模様などを刻む彫金で優れた作品を生み出し、当時美術家の最高名誉とされた帝室技芸員や東京美術学校教授などを歴任しました。日本画家平山郁夫の大叔父に当たり、優れた画家でもありました。

展覧会では、南山の彫金作品を中心に、絵画、南山の師や教え子の彫金作品など約160点を展示し、その功績を紹介します。

期間中は講演会やワークショップも開催され、1月20日(金)には「三原の美味しい産物とイタリアン」と題したディナー(有料、要申し込み)も開かれます。

彫金家 清水南山

～広島が生んだ近代金工の巨匠～

とき 1月6日(金)～2月12日(日) 9時～17時

※1月6日は10時から、金曜日は19時まで。

ところ 広島県立美術館(広島市中区)

内容 三原市出身の彫金家 清水南山の功績を約160点の展示作品で紹介

入場料 1,100円、高・大学生700円、小・中学生400円

◎広島県立美術館

(☎082・221・6246)



ノース市を訪ねました。

同市はニュージーランド北島南部の中心都市。古くから酪農のまちとして栄え、近年では年間3千人の留学生が訪れるなど、国際的な学術都市として発展しています。三原市とはトライアスロンさぎしま大会をきっかけに住民同士の交流が行われてきました。

訪問団は、同市の市役所を訪ね、グラント・スミス市長をはじめとした市幹部と対談。スポーツや文化、教育などの分野での交流について意見を交わし

ました。

スミス市長は「市内の公園に日本庭園を造る計画があるので、力を貸してほしい」と話し、天満市長も「三原には優れた造園家もいる。アドバイスをもらうなど、できる限り協力したい」と応じました。

両市は今後、国際友好都市提携に向けて交流を深める予定です。

経営企画課

☎0848・67・6270